

ブランディング協議会（令和4年5月設立予定）の概要

1. ブランディング協議会設立の目的

みやま市に長い年月を経て育まれた自然、歴史、文化及び風土を重んじ、本市の優位性や地域資源を活かし、地域づくりの視点を持って事業を展開する市内事業者を支援するため、みやまブランディング協議会を設置する。

2. 協議会が事業者支援を行う際に重要視する視点（令和4年度以降）

※下記5つの視点は、令和3年度に実施したブランディングセミナー・ワークショップの結果を反映したものである。

- ①古代から培われてきた技術〈黒潮渡来文化〉
- ②みやまの豊かな風土に根ざした特産物〈農林水産物の優位性〉
- ③古代から続く職人の知恵〈ものづくりの遺伝子〉
- ④みやま文化のお祭り〈祭祀と情景〉
- ⑤みやまの暮らしの質を高める文化力〈サーキュラーエコノミー（循環型経済）〉

3. 協議会が取り組む事項

【ブランディングセミナーの開催及び「つながる場」の創出】

市内事業者、市民、創業予定者及び行政職員を対象に、市の歴史・文化を背景とした世界に通用する「みやまならではの」地域資源の調査・分析を行った上でセミナーを開催し、地域の資源や特性を活かした地域づくりの視点を持って事業に取り組むことで、高付加価値化による経営力向上及び市のブランディングに繋がることの意識づけを行う。

また、参加者同士の意見交換を通じて、事業者間連携や市民参加型のプロジェクトに発展するようマッチングを図る。

【個別の事業者支援】

本市の地域資源を活用し、「2. 協議会が事業者支援を行う際に重要視する視点」を理解した上で新たに事業を展開する事業者を、ブランディング協議会が多方面から支援する。支援の際は、協議会アドバイザーによる助言を受けることができる。

具体的には、市内事業者が商品の「コンセプト、ストーリー」を検討する際、協議会がアドバイザーを中心に助言を行い、デザイン思考を取り入れることで、方向性を見出していく。

また、事業者に不足している事柄を見極め、必要に応じて専門家や協力者を紹介することにより、事業者を総合的に支援する。